

第2期データヘルス計画に係る保健事業の取組状況

分類	健康課題	区分	事業名	目的及び概要	平成30年度(2018年度)事業実績 (内容・数値等)	令和元年度(2019年度)事業実績 (内容・数値等)	令和2年度(2020年度)事業実績 (内容・数値等)	令和3年度(2021年度)事業実績 (内容・数値等)	令和4年度(2022年度)事業実績 (内容・数値等)	令和5年度(2023年度)事業見込み (内容・数値等)	令和5年度(2023年度)事業実績 (内容・数値等)	担当課
1	データヘルス計画の進捗管理	-	-	-	高槻市保健医療審議会及び高槻市国保運営協議会において、平成28年度～29年度における第1期データヘルス計画の進捗状況及び評価の報告等を行った。	高槻市保健医療審議会及び高槻市国保運営協議会において第2期データヘルス計画の進捗状況及び評価の報告等を行った。	高槻市保健医療審議会において、平成30年度～令和元年度における第2期データヘルス計画の進捗状況及び評価の報告等を行った。 また、高槻市国保運営協議会において平成30年度～令和元年度実績に対する中間評価を行った。	高槻市保健医療審議会及び高槻市国保運営協議会において、令和元年度～2年度における第2期データヘルス計画の進捗状況及び評価の報告等を行った。	高槻市保健医療審議会及び高槻市国保運営協議会において、令和2年度～3年度における第2期データヘルス計画の進捗状況の報告等を行った。	高槻市保健医療審議会において、平成30年度～令和4年度における第2期データヘルス計画の進捗状況の報告等を行う。 また、高槻市国保運営協議会において、平成30年度～令和4年度における実績に対する最終評価を行うとともに、次期計画となる第3期データヘルス計画(令和6年度～11年度)を策定した。	高槻市保健医療審議会において、平成30年度～令和4年度における第2期データヘルス計画の進捗状況の報告等を行った。 また、平成30年度～令和4年度における実績に対する最終評価を行うとともに、次期計画となる第3期データヘルス計画(令和6年度～11年度)を策定した。	健康づくり推進課
2	特定健診、がん検診等の受診率向上	継続	特定健診	メタボリックシンドローム	受診率: 40.5%	受診率: 39.7%	受診率: 32.7%	受診率: 35.8%	受診率: 37.1%	令和4年度と同様に実施。 集団健診、個別健診どちらかを受診してもらえらるるよう受診勧奨に努める。 また、かかりつけ医による健康管理の観点から個別健診の受診勧奨を強化する。	受診率: 36.9%(R6.6.26時点) 令和5年度結果は最終確定値ではない。 昨年度同時期の受診率は36.2%	健康づくり推進課
3		継続	がん検診	がんの早期発見早期治療につなげるため、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんの各検診を実施	・胃がん検診を国のガイドラインに合わせて50歳以上、2年に1回(偶数年齢)に実施。 ・7月から胃がん検診に胃内視鏡検査を導入。 ・その他は29年度と同様に実施。 【がん検診受診率】 胃(50～69歳): 男性5.5%、女性7.7% 大腸(40～69歳): 男性5.5%、女性11.5% 肺(40～69歳): 男性8.1%、女性15.0% 子宮頸(20～69歳): 女性22.8% 乳(40～69歳): 女性16.5%	平成30年度と同様に実施 【がん検診受診率】 胃(50～69歳): 男性5.5%、女性8.2% 大腸(40～69歳): 男性5.3%、女性11.4% 肺(40～69歳): 男性7.7%、女性14.3% 子宮頸(20～69歳): 女性23.5% 乳(40～69歳): 女性16.8%	・胃がん検診は新型コロナウイルス感染症予防のため、集団検診のみ前年度以降未受診の奇数年齢も受診対象として実施。 ・肺がん検診は対象年齢を40歳以上に変更して実施。 ・前立腺検査(PSA検査)と検診名を変更して実施。 【がん検診受診率】 胃(50～69歳): 男性5.5%、女性7.6% 大腸(40～69歳): 男性4.9%、女性10.2% 肺(40～69歳): 男性6.6%、女性12.8% 子宮頸(20～69歳): 女性23.6% 乳(40～69歳): 女性16.0%	・胃がん検診は新型コロナウイルス感染症予防のため、集団検診のみ前年度以降未受診の奇数年齢も受診対象として実施。 ・肺がん検診は対象年齢を40歳以上に変更して実施。 ・前立腺検査(PSA検査)と検診名を変更して実施。 【がん検診受診率】 胃(50～69歳): 男性6.8%、女性9.1% 大腸(40～69歳): 男性5.3%、女性11.1% 肺(40～69歳): 男性7.1%、女性14.0% 子宮頸(20～69歳): 女性24.7% 乳(40～69歳): 女性17.0%	令和4年度と同様に実施。 受診勧奨及び精度管理に努める。	【がん検診受診率】 胃(50～69歳): 男性7.1%、女性9.4% 大腸(40～69歳): 男性5.2%、女性11.4% 肺(40～69歳): 男性6.9%、女性13.8% 子宮頸(20～69歳): 女性25.2% 乳(40～69歳): 女性17.3%	健康づくり推進課	
4		継続	人間ドック等助成事業	被保険者の疾病の予防、早期発見を目的に、保険料完納世帯に属する30歳以上の被保険者を対象に、人間ドック等の受診費用について、3万円を上限に8割の助成を実施する。	受診件数: 2,309件 【内訳】 人間ドック: 2,000件 脳ドック: 213件 肺ドック: 82件 人間ドック+脳、肺ドック: 14件	受診件数: 2,214件 【内訳】 人間ドック: 1,915件 脳ドック: 211件 肺ドック: 75件 人間ドック+脳、肺ドック: 13件	受診件数: 1,621件 【内訳】 人間ドック: 1,445件 脳ドック: 122件 肺ドック: 48件 人間ドック+脳、肺ドック: 5件 脳ドック+肺ドック: 1件	受診件数: 1,914件 【内訳】 人間ドック: 1,651件 脳ドック: 186件 肺ドック: 71件 人間ドック+脳、肺ドック: 6件	受診件数: 1,715件 【内訳】 人間ドック: 1,458件 脳ドック: 192件 肺ドック: 55件 人間ドック+脳、肺ドック: 10件	受診件数: 2,200件 【内訳】 人間ドック: 1,900件 脳ドック: 210件 肺ドック: 75件 人間ドック+脳、肺ドック: 15件	受診件数: 1,832件 【内訳】 人間ドック: 1,537件 脳ドック: 215件 肺ドック: 70件 人間ドック+脳、肺ドック: 10件	国民健康保険課
5	COPDの周知・啓発	継続	たばこ対策	禁煙サポート、受動喫煙防止、未成年者喫煙防止を柱として、喫煙とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の関連性等について市民へ啓発などを実施する。	たばこ関連相談(個別相談): 74人 健康・食育フェアにおける啓発活動ブースアンケート回答者: 443人	たばこ関連相談(個別相談): 202人 健康・食育フェアブース参加者: のべ508人	たばこ関連相談(個別相談): 90人 本庁展示における啓発活動(リーフレット等配布): 1,000人	たばこ関連相談(個別相談): 31人 本庁展示における啓発活動(リーフレット等配布): 1,000人	たばこ関連相談(個別相談): 41人 本庁展示等における啓発活動(リーフレット等配布): 1,000人	たばこ関連相談(個別相談): 50人 本庁展示等における啓発活動: 1,000人	たばこ関連相談(個別相談): 42人 本庁展示等における啓発活動(リーフレット等配布): 1,000人 健康・食育フェアにおける啓発活動ブースアンケート回答者: 164人	健康医療政策課
6	ハイリスクアプローチ(発症予防、早期治療、重症化予防)	継続	特定保健指導	特定保健指導でメタボリックシンドロームと判定された人を対象に、医師・保健師・管理栄養士等の専門家が健康のセルフケアにつながるようサポートを行い、生活習慣病の重症化や合併症の予防につなげる。	実施率: 19.6%	実施率: 18.6%	実施率: 18.6%	実施率: 21.1%	実施率: 24.6%	令和4年度と同様に実施。 勧奨方法や実施方法を見直し、より多くの対象者が利用につながるよう勧奨を行う。	実施率: 13.9%(R6.6.26時点) 令和5年度結果は最終確定値ではない。 昨年度同時期の受診率は14.6%	健康づくり推進課
7		継続	民間事業者との連携事業	特定保健指導の実施率向上及び運動習慣のきっかけづくりを目的に、民間事業者と連携し、特定保健指導の利用券を発送する際に、フィットネスの3か月間無料体験チケットを同封し、利用勧奨を行う。	協力民間事業者数: 13施設 参加者: 59人	協力民間事業者数: 13施設 参加者: 46人	協力民間事業者数: 10施設 参加者: 24人	協力民間事業者数: 10施設 参加者: 57人	協力民間事業者数: 8施設 参加者: 51人	令和4年度と同様に実施。 特定保健指導対象者へチケットを送付し勧奨を実施。 また、特定保健指導実施時にも勧奨を行う。	協力民間事業者数: 9施設 参加者: 69人	健康づくり推進課

第2期データヘルス計画に係る保健事業の取組状況

	分類	健康課題	区分	事業名	目的及び概要	平成30年度(2018年度)事業実績 (内容・数値等)	令和元年度(2019年度)事業実績 (内容・数値等)	令和2年度(2020年度)事業実績 (内容・数値等)	令和3年度(2021年度)事業実績 (内容・数値等)	令和4年度(2022年度)事業実績 (内容・数値等)	令和5年度(2023年度)事業見込み (内容・数値等)	令和5年度(2023年度)事業実績 (内容・数値等)	担当課		
8	ハイリスク アプローチ (発症予防、 早期治療、 重症化予防)	非肥満者の 生活習慣病 重症化予防 対策	継続	運動教室 栄養教室	市民への健康教育として、管理栄養士や保健師、健康運動指導士等が実践的な健康づくりを指導する。	・健康教室：(11回)183人 大阪北部地震のため1回中止となった。 ・糖尿病予防教室：(8回)137人 (リーフレット送付者1,179人)	・健康教室：(11回)121人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止となった。 ・糖尿病予防教室：(8回)116人 (リーフレット送付者1,374人)	・健康教室：(7回)72人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5回中止となった。 ・糖尿病予防教室：(8回)94人 (リーフレット送付者1,687人)	・健康教室：(8回)90人 ・糖尿病予防教室：(4回)27人 (リーフレット送付者1,657人) ・体組成測定会：(3回)18人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 糖尿病予防教室が4回中止となった。	・健康教室：(6回)102人 ・糖尿病予防教室：(6回)138人 (リーフレット送付者1,657人) ・体組成測定会：(3回)29人	・健康教室：(6回)150人 ・糖尿病予防教室：(6回)190人 ・体組成測定会：5回	・健康教室：(6回)129人 ・糖尿病予防教室：(6回)109人 (リーフレット送付者：1,770人) ・体組成測定会：5回 58人	健康づくり 推進課		
9			継続	適塩啓発	高血圧予防を目的に、食事に含まれる塩分を適量にする「適塩」の啓発を実施。	・適塩リーフレットの配布 ・適塩レシピキャンペーンの実施 ・広報等での啓発	・適塩リーフレットの配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・広報等での啓発	・適塩リーフレット・適塩レシピ等の配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・広報等での啓発	・適塩リーフレット・適塩レシピ等の配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・ホームページでの適塩レシピの紹介 ・広報誌・市広報番組等での啓発	・適塩リーフレット・適塩レシピ等の配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・ホームページでの適塩レシピの紹介 ・広報誌・市広報番組等での啓発	・適塩リーフレット・適塩レシピ等の配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・ホームページでの適塩レシピの紹介 ・広報誌・市広報番組等での啓発	・適塩リーフレット・適塩レシピ等の配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・ホームページでの適塩レシピの紹介 ・広報誌・市広報番組等での啓発	・適塩リーフレット・適塩レシピ等の配布 ・適塩啓発キャンペーンの実施 ・ホームページでの適塩レシピの紹介 ・広報誌・市広報番組等での啓発	健康づくり 推進課	
10			継続	高血圧予防 教室	特定健診において、I度高血圧と判定された人を対象に、高血圧予防教室の案内通知とともに、高血圧予防の改善方法などのリーフレットを同封し啓発する。	高血圧予防教室：(8回)119人 (リーフレット送付者686人)	高血圧予防教室：(6回)90人 (リーフレット送付者888人) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止となった。	高血圧予防教室：(8回)83人 (リーフレット送付者854人)	・高血圧予防教室：(5回)81人 (リーフレット送付者1,125人) ・体組成測定会：(1回)8人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止となった。	・高血圧予防教室：(6回)77人 (リーフレット送付者1,348人) ・体組成測定会：(1回)7人	・高血圧予防教室：(6回)150人 ・体組成測定会：2回	・高血圧予防教室：(6回)103人 (リーフレット送付者1,374人) ・体組成測定会：(2回)18人	健康づくり 推進課		
11			継続	血圧手帳の 交付	家庭での血圧管理及び高血圧予防の普及啓発を目的に、本市独自の血圧管理のための手帳を作成し、保健指導及び高血圧予防教室実施時等の機会に交付する。	交付数：1,880件	交付数：1,700件	交付数：1,078件	交付数：1,392件	交付数：1,703件	交付数：1,703件	交付数：1,703件	交付数：2,253冊	健康づくり 推進課	
12			継続	生活習慣病 重症化予防 事業	特定健診を受診し、未治療の重症化ハイリスク者に対して、受診勧奨を行い、生活習慣病重症化予防を行う。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧未治療者303人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c7.0%以上の未治療者236人に受診勧奨を実施。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧未治療者283人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c7.0%以上の未治療者232人に受診勧奨を実施。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧未治療者196人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c7.0%以上の未治療者193人に受診勧奨を実施。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧358人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c6.5%以上の未治療者129人に受診勧奨を実施。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧365人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c6.5%以上の未治療者105人に受診勧奨を実施。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧118人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c6.5%以上の未治療者83人に受診勧奨を実施。	①高槻市国民健康保険特定健診(集団健診)受診者の内、II度以上高血圧118人に受診勧奨及び生活習慣改善指導を実施。 ②高槻市国民健康保険特定健診受診者の内、HbA1c6.5%以上の未治療者83人に受診勧奨を実施。	健康づくり 推進課		
13			継続	生活習慣病 重症化予防 事業 (糖尿病・ 糖尿病性腎 症)	II型糖尿病を治療中の糖尿病性腎症ハイリスク者が、透析へ移行するなど重症化する事を予防するために、関係機関と連携のもと、日常生活指導を実施する。	受療に繋がった腎機能低下者3人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者1人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者4人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者3人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者5人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者5人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者2人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	受療に繋がった腎機能低下者2人に対し、医療機関と連携した保健指導を実施。	健康づくり 推進課	
14			その他	適正受診の 周知・啓発	継続	レセプト 点検事業	医療費適正化対策の強化を図るため、職員、委託業者等でレセプトの点検を行う。	点検件数：1,352,521件 減点件数：8,500件 減点金額：38,985千円	点検件数：1,309,918件 減点件数：8,608件 減点金額：40,032千円	点検件数：1,178,866件 減点件数：6,813件 減点金額：21,677千円	点検件数：1,226,058件 減点件数：4,081件 減点金額：23,600千円	点検件数：1,194,907件 減点件数：5,277件 減点金額：26,310千円	点検件数：1,226,000件 減点件数：4,200件 減点金額：25,000千円	点検件数：1,146,237件 減点件数：5,399件 減点金額：22,427千円	国民健康 保険課
15					継続	医療費通知	被保険者に、給付費も含めた自身の医療費を知らせるため、医療費通知を送付する(柔道整復・鍼灸・マッサージを含む)。	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：241,532件	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：232,879件	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：218,415件	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：220,058件	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：221,298件	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：222,000件	医療費通知の送付 (5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回) 送付件数：227,060件	国民健康 保険課
16					継続	重複受診 (服薬)者への 訪問指導	被保険者の健康管理を目的に、重複受診(服薬)へ必要な指導を行う。	平成30年度より、大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を開始した。 対象者：12人 指導実施者：11人	大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を行った。 対象者：21人 指導実施者：15人	大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を行った。 対象者：15人 指導実施者：13人	大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を行った。 対象者：17人 指導実施者：15人	大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を行った。 対象者：18人 指導実施者：14人	大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を行った。 対象者：21人 指導実施者：15人	大阪府国保連合会と連携し、重複服薬の状態が継続している被保険者に対する相談、指導を行った。 対象者：19人 指導実施者：12人	国民健康 保険課
17			継続	ジェネリック 医薬品の 普及・啓発	医療費適正化の観点から、ジェネリック医薬品利用率増加を図るため、被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けた。また、利用促進のお知らせを年2回から3回に増やした。 後発医薬品の数量シェア：77.1% 効果額(保険者負担削減額) △4,093,148 効果額(自己負担削減額) △1,380,552	年3回(7月・10月・2月)発送。 平成30年度の被保険者証一斉更新時より、希望カードの配布に替えて、被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けた。 また、利用促進のお知らせを年2回から3回に増やした。 後発医薬品の数量シェア：79.3% 効果額(保険者負担削減額) △2,752,084 効果額(自己負担削減額) △1,010,856	年3回(7月・10月・2月)発送。 被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けている。 後発医薬品の数量シェア：79.8% 効果額(保険者負担削減額) △8,032,425 効果額(自己負担削減額) △3,004,665	年3回(7月・10月・2月)発送。 被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けている。 後発医薬品の数量シェア：80.1% 効果額(保険者負担削減額) △4,500,354 効果額(自己負担削減額) △1,493,996	年3回(7月・10月・2月)発送。 被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けている。 後発医薬品の数量シェア：80.1% 効果額(自己負担削減額) △4,500,354 効果額(自己負担削減額) △1,493,996	年3回(7月・10月・2月)発送。 被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けている。 後発医薬品の数量シェア：80%以上を継続 ※効果額検証は、令和5年中に予定	年3回(7月・10月・2月)発送。 被保険者証裏面にジェネリック医薬品の希望について記載できる欄を設けている。 後発医薬品の数量シェア：81.0% ※効果額検証は、令和6年中に予定	国民健康 保険課			